



# 松ぼっくり



築地小HP

学校HP <https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp/> e-mail [tsuiji-es@tainai.ed.jp](mailto:tsuiji-es@tainai.ed.jp)

学び合い 認め合い 鍛え合う子

令和5年12月13日 発行

## 松の子の確かな伸びを感じつつ、2学期の教育活動を終えます

校長 小川 泰文

学校から遠くに見える山々が白くなりました。また、海の方に目を向けると重い灰色の雲が空を覆っています。

12月を迎え、2学期もしめくくりとなります。先日は、お子さんが今学期成長したところを中心に担任と個別に懇談していただきました。ありがとうございました。

さて、「雲外蒼天」という言葉をご存じでしょうか。「雲の外には、青空が広がっている」という意味から転じて、「困難を努力して乗り越えた先には、明るい未来がある」という意味があります。この季節、本校の校庭に出ると、冬の雲の切れ目から、鮮やかな青い空が見えることがしばしばあります。

この「雲外蒼天」という言葉は、将棋界で史上初の八大タイトル独占を達成した藤井聡太さんが、総理大臣顕彰のお返しに総理に手渡した将棋セットの箱に揮毫したものです。

インタビューでは、「私が普段から揮毫している言葉で、雲の上には青空が広がっているということで、『努力をして更に実力を高めていくことで、これまでと違った景色が見える』という意味を込めて書いています」と述べました。まさしく数々の困難を乗り越えた先の輝かしい功績といえます。

同時に、藤井さんの活躍から若者の無限の可能性を感じました。藤井さんは現在21歳。将棋界には実力を備えた数々のベテランが活躍している中での快挙。幼いころから将棋に親しんだとはいえ、力のあるベテランに勝ち抜いての八冠達成に、思考力・判断力等は若いときにこそ伸びると感じました。

「鉄は熱いうちに」ということわざもありますが、松の子も今が自分の得意を伸ばすとき。藤井さんも生まれつきすごい力が備わっていたわけではないはず。磨かなければ光ることはできません。今、何に打ち込み、鍛えていくかが鍵となります。

そして私たちは、子どもたちが「どうせ無理・・・」と自尊心を損なう言葉掛けではなく、「努力の先には必ず青空がある」と思えるよう励ましていかなければなりません。

今学期も学校の中には、松の子が自己の可能性に挑戦するための、数々の取組がありました。日々の学習をはじめ、体育的・文化的行事など。素直で前向きに取り組む松の子です。一人一人に伸び、成果がありました。

また、こうして松の子がチャレンジできた背景には皆様方からの多大なるご協力がありました。そうしたご支援のお陰で、今学期計画した教育活動も滞りなく終えることができそうです。大変ありがとうございました。

**2学期の取組の様子を ホームページ「学校ブログ」からご覧ください**<https://tainai-tsuiji-es.edumap.jp>

こちらのQRコードから→



# 子どもたち主体の 児童会活動を目指して

築地小の児童会活動は、「学校生活の充実と向上のために諸問題を話し合い、協力してその解決を図る」ことを目標とし、子どもたちの主体性と協力を大切にしています。活動の中心となるのが、5・6年生による委員会活動と、1～6年生による縦割り班活動です。

## 【委員会活動】

築地小の5つの委員会と今年度の主な活動内容は以下のとおりです。

松の子スマイル委員会	児童会行事の運営、スマイル朝会の企画運営、あいさつ運動
図書委員会	本の貸出作業、読書に親しむ活動の企画運営
情報委員会	朝・昼の放送、廊下掲示板へのポスター掲示
給食ボランティア	給食のメニュー紹介、募金活動
健康	健康活動の企画・運営、液体石けん等の補充

どの委員会でも、全校の子どもたちがよりよく学校生活を送ることができるよう、自らで課題を見付け、解決するよう活動を工夫しています。

例えば、保健委員会では、「トイレトペーパーホルダーを新しくきれいにすれば気持ちよくトイレに入れるのでは」という児童の声を実現へと進めました。また、給食ボランティア委員会は、「お皿きれい運動」と題し、調理員さんのために、食器をきれいに給食を食べようと、放送やポスターで呼びかけました。



## 【縦割り班活動】

異学年の子どもが集まり、9～10人×18班の縦割り班を編制しています。週3回の清掃の他、1年生を迎える会、松の子祭り、小中合同クリーン作戦などで、この縦割り班ごとに活動します。

この活動を通して、高学年の児童はリーダーシップを身に付け、発揮し、頼もしさを伸ばしていきます。低学年の児童は高学年の姿を見て学び、「こんな高学年になりたい。」と憧れの気持ちを持ち、よりよい築地小学校の伝統をつくっていきます。



4/25 1年生を迎える会



4/18 松の子班顔合わせ



6/21 クリーン作戦 in 村松浜



年間の縦割り班活動のメインイベント、「松の子祭り」については、次ページをご覧ください

# 11月17日（金）松の子まつり

築地小学校では、キャリア教育「築地っ子プラン」と築地中学校区「中1ギャップ解消自校プラン」の視点から、以下のようなねらいを設定し、縦割り班活動である「松の子まつり」を実施しています。

- 学年の違う子ども同士の間を通じた、いたわりや尊敬、我慢や協力などの心情や態度を養い、望ましい人間関係の形成を図る。
- 多くの子どもたちが楽しめる出店を協力して企画・運営し、全校で楽しむ。
- 様々な活動を通して友達の良さを認め合う。



## 10月26日（木） 代表委員会

松の子まつりのスローガンについて話し合い、全校の投票で決めることになりました。



## 11月1日（水） 松の子まつり打合せ

5・6年生が出店の計画を説明し、役割分担を相談しました。



## 11月8日（水）・14日（火） 松の子まつり準備

出店に必要なものや飾りを作ったり、実際のルールで試してみて全校が楽しめる内容になっているかチェックしたりしました。



## 11月17日（金） 松の子まつり当日

各班が工夫した出店をつくり、受付係やルール説明など、全員で協力して運営しました。前半、後半に分かれ、半分の児童は、他の班の出店を楽しみました。

「ホラーなぞときかぎさがし」「だっしゅつゲーム」「動く玉入れ」「おばけやしきでかきさがし」「風船バレー」「意味が分かるとこわい話」「早押し拡大クイズ」「しゃてきクイズ」「宝さがし」の9つの出店のどれもが、お客さんを楽しませる工夫がされていて、子どもたちのアイデア、実行力、協調性に感心させられました。

また、数年ぶりについて保育園の年長児を招待しました。園児のみなさんも楽しめるように、ルールをもう工夫し、より分かりやすい説明に努めました。「全部楽しかった」「もっとやりたかった」と園児のみなさんが喜んでくれ、小学生もとても満足した様子でした。

# タブレット PC (Chromebook) を活用しています！

タブレットの一人一台導入から3年目となりました。子どもたちはどんどんとタブレット PCの操作に慣れ、様々な学習で使いこなしています。学年ごとにどのように活用しているか、一例を紹介します。

## 『1年生』

表現運動で、動物のまねっこをした動画を友達に撮ってもらい、自分の動きをチェックするなど、体育の学習でも活用しました。(写真左)

## 『2年生』

国語の音読劇の動画を撮り、「もっとこうしよう」と振り返りに役立てました。この音読劇は1年生や家の人にも見てもらいました。

## 『3年生』

図工では、自分の作品の写真をとって学級のオンライン上に提出し、お互いの作品を鑑賞しました。学習の成果を手軽に交流できるよさがあります。

## 『4年生』

算数で、先生の板書をローマ字入力したり、答えの求め方を表して説明したり、タブレットをノートとして活用する姿が見られます。(写真右)

## 『5年生』

理科では、流れる水のはたらかの実験の様子を動画で記録し、水が多い時、坂が急な時の変化の様子を比べる学習に大いに役立てました。

## 『6年生』

社会科で学習したこと、調べたことをスライドにまとめ、学習を深めています。こうした操作に慣れ、自信をもって自力で学習を進めています。



以上、ほんの一例であり、家庭学習、他のいろいろな場面で、毎日、当たり前のように活用しています。

スマートフォンやタブレットなどのICT機器、インターネットはとても便利であり、現代の生活になくてはならないものです。反面、有害な情報、相手の顔が見えないこと、ネット依存などの危険性もあります。子どもたちが安全、有効に使用できるよう、家庭や地域での見守りを、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



6年生が児童玄関の文字を新しく作り直してくれました。

朝は「えがおあられるあいさつ」のメッセージで全校児童を迎え、帰りは「あしたもがんばろう」のメッセージで送る工夫がされています。ご来校の際にはどうぞご注目ください。